

＜人権教育にかかわる年間指導計画＞

6 年

【基本的な考え方】
○卒業を控えた児童に人権意識を育み、自分も他人も尊重する心情を育てる。

⇒

【年間指導計画作成のための方針】
○全児童が人間として他人を尊重し、自分も尊重されるべき存在であることに気付かせ、そのような心情を育むとともに、実際の行動に反映できるようにする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	他の児童を傷つける行動の誤りについて指導					学級の一人一人が人間として尊重されることを指導				学級、学年での協力を通し、全員がお互いを尊重しあうよう指導		
各教科			体育科 保健領域 「病気の予防」 病気の予防法や病気がなったときの対処の仕方を知る。			社会科 「蘭学の発達と腑分けの技術」 農民や町民よりも低い身分とされていた人々の優れた技術と社会への貢献を理解する。	社会科 「明治維新と市民平等」 社会科 「全国水平社の創設」 差別解消を求める起こったことを理解する。		社会科 「日本国憲法」 基本的人権の尊重を理解する。	社会科 「日本との関係の深い国々」 日本と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解する。		
総 合	「差別のない社会を目指して」（人権）さまざまな人権問題について調べ、これから自分たちができることを考える。			人権メッセージ作文		人権メッセージ 作文発表（6年）	「ボランティアをし合おう」（福祉）					
道 徳	親切・思いやり 相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする。	個性の伸長 自分の特徴に気付き、よいところを伸ばそうとする。	公正・公平・社会正義 誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正・公平に接しようとする。	節度・節制 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活を送ろうとする。	礼儀 挨拶や礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする。	感謝 尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする。	勤労・公共の精神 みんなのために働く楽しさや喜びを知り、進んで働こうとする。	友情・信頼 友達と互いに理解し、助け合おうとする。	家族愛 家族の愛情に気付き、家族みんなで明るく楽しい家庭を作ろうとする。	自然愛護 自然の素晴らしさを感じ取り、自然や動植物を大切にしようとする。	相互理解・寛容 自分の考えを相手にしっかり伝え、相手のことも理解し、自分と違う意見も大切に	生命の尊さ 命の尊さを知り、命あるものすべてを大切にする。
特別活動	学級活動 学級目標を設定する過程で「いじめ」のない学級づくりについて考える。											
学校行事等 その他	1年生を迎える会	挨拶運動（通年） 挨拶を通して温かい人間関係の基礎をつくる。										
			ふれあい月間					ふれあい月間			ふれあい月間	
							学習発表会 「表現」「鑑賞」				卒業を祝う会 感謝の気持ちを育む。	
保護者・地域との連携	＜保護者会4・7・12・2月＞ 家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。		＜家庭訪問4・5月 個人面談9月＞ 地域や家庭環境を知るとともに、家庭からの連絡と学校からの報告により、家庭との連携を強化する。			＜道徳授業地区公開講座 10月＞ 人権教育・道徳教育について説明する。		＜生活リズムチェックシート 5・8・1月＞ 規則正しい生活リズムについて連携して取り組む。		＜ウインタースクール＞ 共同生活を通して、自立・協力・思いやりの精神を養う。		